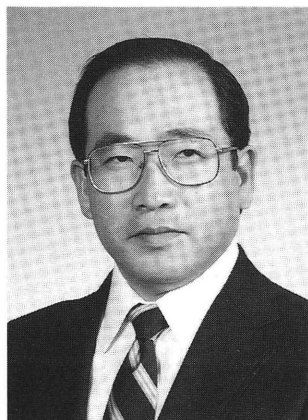


— 現場での応急処置について —

座長：品川光春

齊藤歯科医院院長

齊藤 朗



■ 略歴

昭和52年 大阪歯科大学卒業
福岡歯科大学歯科保存学第二教室助手
昭和54年 齊藤歯科医院院長

■ 現在

日本歯周病学会会員
日本小児歯科学会会員
熊本B.P.C.小児歯科研究会会員
熊本口腔研究会会員

日常の臨床において小児の歯の外傷に遭遇する機会は少なくないが、患者の年齢が低くその扱いが容易でない場合や、外傷の程度や受傷年齢の違いにより治療方法が異なってくるなど対応が困難なときも多い。特に歯牙が脱落した時は初期の対応によりその歯牙の予後を大きく左右することになり注意が必要である。

今回教育の現場で、日頃小児の外傷に一番最初に出会う機会の多い養護教員の先生方に対し、小児の歯の外傷について、統計を含めた基礎的なことがらを話してみたいと思う。

又、現場での応急処置や医院における一般的な臨床例も供覧してみたいと思う。